

綜合仏教研究所公開講座

# 徳巖理豊とその芸術

講師 中村 玲 先生  
(日本女子大学国際文化学部助教)

**【日程】2024年12月11日(水)**

**【時間】13:20~15:00(3時限目)**

**【場所】綜合仏教研究所 研究室1(3号館4階)**

本研究所では、中村玲先生(日本女子大学)を講師にお迎えし、ご講演いただきます。どなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。(聴講無料・予約不要)

## 【講義概要】

とくごんりほう

徳巖理豊(1672-1745)は、江戸時代前期の文化において和歌や書跡等に優れた後西天皇の11番目の皇女として誕生しました。理豊は元禄2年(1689)18歳で、皇女や公家の子女が寺主を務める尼門跡寺院の一つである京都・宝鏡寺の第22代住職となり、その後40年以上もの間、宝鏡寺の中興の祖として自身の寺および関連寺院の地位向上や文化的活動の発展に専心しました。

ちかのぶ

また、江戸幕府の御用絵師である狩野周信に学び、仏画や肖像画など多数の絵画のほか、寺社の山号、寺号、社号を気迫に満ちた書風で揮毫する書跡等を数多く残すなど、芸術に優れた女性であったともいえます。この講義では、理豊が制作した絵画や書跡を中心に、彼女の活動についてお話しいたします。

【問い合わせ先】 大正大学綜合仏教研究所 03-3918-7311(代表)

[http://www.tais.ac.jp/library\\_lab/sobutsu/](http://www.tais.ac.jp/library_lab/sobutsu/)

※日程等に変更が生じた場合は、随時、上記HP上にてご案内いたします。